

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス がじゅまるくらぶ			
○保護者評価実施期間	2025年11月26日 ~			2025年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年11月26日 ~			2025年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが飽きないように工夫している。	クッキング、工作、イベント（季節の行事・誕生日会）、外出等への一人一人の能力を考慮し、全体活動の充実を行っている。	児童への一人一人の細かな支援と全体活動の充実
2	清潔で心地よく過ごせる環境、また、こども達の適切な色合いの環境になっている。	毎日の清掃を行っており、掲示物も季節の物に変更している。遊戯内の壁は白く、ドアは黄色やオレンジ色を使う等明るい雰囲気に入っているが、窓からの明るい光を取り入れ、暗所に弱い児童には電気を付けている。	施設内の壁は白く、ドアは黄色やオレンジ色を使う等明るい雰囲気に入っているが、窓からの明るい光を取り入れたり、廊下等に明るい電気をつけています。
3	家族・きょうだい含めたイベント開催が少ない。	事業所として考えている課題の要因等 今まで保護者からのニーズが少なかったこともあり、児童を中心に行われていた。改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点今回の保護者からの評価を行われていないと思う意見もあったためイベント開催を検討していく。	一目でわかるように表にまとめたり、発生時の対応方法も理解している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	大規模災害に対応できるような取り組みが整っていない。	事業所として考えている課題の要因等 非常時の持ち出し袋、マニュアルの整備や取り組みは実施しているが、情報共有や伝え方が弱い。改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点 非常時の対応について定期的な情報共有、教室内掲示等情報伝達に努める必要がある。	非常時の対応について定期的な情報共有、教室内掲示等情報伝達に努める必要がある。
2	ホームページ等外部への広報活動ができていない。	事業所として考えている課題の要因等 保護者への情報伝達方法は連絡帳等のみであり、その他の人たちへの情報伝達ができていない。会社としての取り組みや様々な活動内容を定期的に紹介していく。	会社としての取り組みや色々な活動内容を定期的に紹介していく。
3	家族・きょうだい含めたイベント開催が少ない。	これまで保護者からのニーズが少なく、児童中心の活動になっていた	今回の保護者からの評価表で行われていないと思う意見もあったためイベント開催を検討していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスがじゅまるくらぶ

公表日 2025年12月19日

利用児童数 2025年12月19日 26名

回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			5		個別対応も含め、数名での対応を考え人員確保しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24			1		単純な作りの環境になっており、窓からの明り取りや、段差があるところには明かるくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			1		毎日の掃除や空気清浄機・換気などしています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				保護者からモニタリングや学校の先生などから子どもの特性を伺った中で必要と思う支援をさせてもらっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			3		支援プログラムを公表し、それに沿った支援を行えるよう職員で話し合っています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14	2	3	6	特に気にしていません。	
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1				契約を交わす際には契約書の内容について口頭でしっかりと説明させていただき、支援プログラムにおいても公表しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		1		サービス計画を立てた際には説明をさせていただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	2	7	特に気にしていません。	あまりそういう機会がありませんでしたが、今後は検討させていただく予定です。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	25					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2				定期的な面談という形は取れていませんが、送迎時やメール、電話での助言は行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25					

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	7	6	8	特に気にしていません。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2		1		場としての体制は設備されていませんが、何時でも申し入れに対して対応できる体制はしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1				定期的に通信を発行するなど活動概要や行事予定などの詳細を公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1				個人の情報が記載された物はきちんと破棄しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1				各マニュアルは策定されており、発生を想定した訓練も実施しています。その際には活動記録などで公表しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			2	いつ訓練しているのかわからない。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			3		通常、事故や怪我はあってはいけない事ですが、発生した場合は速やかに連絡し、きちんと説明させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25					
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				いつもありがとうございます。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスがじゅまるくらぶ	事業所における自己評価結果				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		遊ぶ時は、机を端に寄せ活動スペースを広くとっている。	今後も利用児童の増減や特性の変化に応じて空間配置を検討していきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		児童の様子をしっかりみれるように職員を配置している。	より安定した支援提供のため、職員間の連携強化を継続していく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	段差があるところは明るくしている。	トイレの場所が一段段差を上がったところにあるため介助が必要な児童は要注意していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日掃除をしたり除湿器・換気といった環境整備を行なっています。	定期的な環境点検を行い、より快適な空間作りをしていく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		相談室があるので集中ができない時や落ち着きたい時に使用できる部屋があります。	継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3	継続していく。	参画できていない。 PDCAの基本を学ぶ研修の実施。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の意向を聞き職員で共有し業務改善に努めている。	継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	各事業所の職員同士で話し合いは出来ている。	出来ているものとできていない場合がある為、職員間でもっと話し合いを行い業務改善に取り組んでいきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者評価票は受けていない。	これからは外部評価を受けてみる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	外部研修への参加機会を確保している。(HUGなど)	法人内ではできている研修と出来ていない研修があるので今後はしっかりと取り組んでいく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		公表しています。 しっかりと職員間でミーティングを行い支援プログラムを作成している。	作った支援プログラムで出来ていない支援もある為、色々な活動を通して取り組んでいく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	モニタリングで保護者の意向をしっかり聞き、職員間で話し合い児童へのサービス計画を作成している。	月に一度や2.3ヶ月に一度放ディの職員と保護者や児童と面談する時間を作ってもいいかもしれません。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		サービス計画を作成する際は作成する前後で事業所の職員と必ずミーティングをし児童に合わせたサービス計画を作成している。	継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	職員間でしっかりと共有をし計画に沿って支援をしている。	出来ている部分や出来ていない部分があるのでしっかりと計画に沿って満遍なく支援していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	職員間でのミーティングを通して、行動の変化や気づきを共有し、支援計画に反映するなどの工夫をしている。	行動観察の視点や記録方法を統一し、定期的な振り返りの機会を設けることで、より質の高いアセスメントにつなげていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	日常の支援やアセスメント結果をもとに、具体的な支援内容を計画に落とし込み、職員間で共有して支援の一貫性を図っている。	具体的な支援内容が活動中心の記載になり、ねらいとの関連が弱くなることがある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	事業所の職員で話し合い活動プログラムの立案を行なっている。	出来ていない日もあるのでしっかりと立案チームで話し合いをしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	季節の製作やみんなで椅子取りゲームなどをして活動プログラムが固定化しないように工夫している。	児童によっては活動が固定化している児童があるので、できるだけ固定化しないように色々な活動を提案していく。

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動・集団活動、2つを取り入れながら無理のないよう工夫し支援をしている。	継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	全事業所職員で日々ミーティングを行なっている。	下校時間が早い場合は、ミーティングができない日があるためそういう日は午前中などに行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	支援終了後に職員間で必要事項を共有している。	日によって出来ている日、出来ていない日があるのでそういう日は翌日に話合いをしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		連絡帳に日々の記録を入力している。	何かあった日の記録は必ず読み返し次の対応の仕方や支援の仕方を考え改善できるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	モニタリングは年に2回行なっています。計画の見直しが必要場合は、保護者と話しながら適切な支援にしている。	定期的には行えていない。年に2回しか出来ていないのでもう少し回数を増やしてもいいのかもしれない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	製作活動や自立支援・余暇の提供を行なうようにしています。屋外活動もできるだけ行なっている。	地域交流はイベント以外はないので普段の活動から地域の人への挨拶をしっかり取り組んでいきたいです。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		できるだけ普段体験できないような活動をし興味の視野を広げていくようにしている。	継続していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	基本管理者が会議に参加をしている。	管理者とともに児童のことを理解している職員が会議に参加できるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携し支援を行えるようにしている。	継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校とは連携をしています。毎月月間予定表をいただき音楽会に鑑賞したり招待していただいたりしている。	継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	保護者の方からお話を聞くことが稀にある。	就学前に利用していた所とは情報共有していないので今後はお話を聞いてもいいのかなと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	継続していく。	情報共有できていない。今後は支援内容をしっかりとまとめ情報共有していきたいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて助言を受けている。	継続していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	イベントでは地域の夏祭りに参加をして地域の人との交流を取り組んでいる。	普段の活動の中では地域の人と交流がほとんどないので挨拶や地域の活動に取り組んでいく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	継続していく。	今の段階では行けていないのでまた機会があればそいった協議に参加したいと思いました。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日頃の様子は毎日の連絡帳に記入し保護者の方に子ども達の様子を伝えている。	課題については毎日伝え合えてはいないためかかる時は伝えるようにします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	継続していく。	家族に対して研修を行っていないので家族が参加できる研修機会を設けていく。
運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用負担や運営規定は契約時に説明をしている。	全職員が全ての説明ができるように研修を行なっていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	個別支援計画を作成する際は必ず保護者の方とモニタリングを行い保護者の意向を確認する場を設けている。	年に2回ほどモニタリングはあるが必ずしもできているとは限らないため保護者と話す機会を設けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同意は得ている。	しっかり支援内容の説明ができていなかったため今後はしっかり丁寧に説明をしていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		全保護者にはできていないが、個別に相談を受けることが出来ている。	全保護者には出来ていなかったので相談がある場合や悩みがある際は面談を行う場を設けていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	継続していく。	出来ていません。 今後イベントなどで保護者や兄弟が参加できるような催しをしてもいいかもしない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4	できるだけ苦情が来ないようにしていますが、来た場合は速やかに対応できるようにしている。	継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	定期的に通信やSNSを活用し保護者に発信をしている。	出来ていない月があるので今後は定期的に行なっていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		3	事業所で管理しています。 ファイルに閉じ見やすくしている。	退室した児童とおんないじファイルに入れていため見にくくなってしまっている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4	情報は日々の活動記録にて記載をしている。	今後も活動記録やモニタリングを通して保護者の方と意思の疎通や情報共有していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	毎年町内会のお祭りにイベントとして参加している。	事業所のイベントに地域の方を誘うことがないためそういうイベントがあつても良いのかなと思っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3	年間行事は毎年作成し保護者の方に渡しています。 家族へは連絡帳で周知をしている。	水害などは基本体験できない訓練なので体験場にいき水害や煙体験を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	定期的に避難訓練をしたりして非常災害の発生に備えている。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4	てんかん持ちの児童に関しては保護者の方と連携している。	継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	食物アレルギーに関しては保護者の方から聞いているので指示書に基づいておやつの提供をしている。	継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		3	安全管理がされた中で支援をすることが出来ている。	支援は出来ているが十分ではない為研修を行なったり訓練を行なっていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		3	安全確保に関する取り組みを保護者に周知している。	周知の方法の工夫を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4	ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に向けた対策を検討し取り組んでいる。	まず、ヒヤリハットが起きないようにしっかり見守りをしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4	虐待防止は年に何度も研修を行い適切な対応している。	研修内容の定期的な見直しを行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		3	身体拘束をしなくては行けない児童に関しては保護者に伝えている。	サービス計画には保護者から要望があれば備考欄に入力している。